

商品名 エンレスト錠50mg 医薬品基本情報

薬効	2190 その他の循環器官用薬	一般名	サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物錠
英名	Entresto	剤型	錠
薬価	60.90	規格	50mg 1錠
メーカー	ノバルティス ファーマ	毒劇区分	

エンレスト錠50mgの効能・効果

慢性心不全

エンレスト錠50mgの使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、アンジオテンシン変換酵素阻害薬投与中、アンジオテンシン変換酵素阻害薬投与中止から36時間以内、血管浮腫の既往、後天性血管浮腫の既往、特発性血管浮腫の既往、遺伝性血管性浮腫の既往、アンジオテンシン2受容体拮抗薬による血管浮腫の既往、アンジオテンシン変換酵素阻害薬による血管浮腫の既往、アリスキレンフマル酸塩投与中、重度肝機能障害＜Child-Pugh分類C＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 両側性腎動脈狭窄、片腎で腎動脈狭窄、高カリウム血症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
3. 手術前24時間	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	希望禁止
4. 重度腎機能障害、eGFR 30mL/min/1.73m ² 未満、中等度肝機能障害＜Child-Pugh分類B＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
5. 腎機能障害、血圧が低い、中等度肝機能障害＜Child-Pugh分類B＞、eGFR 90mL/min/1.73m ² 未満	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
6. 腎機能障害、低アルドステロン症、糖尿病、カリウム含量が高い食事を摂取、高カリウム血症のリスク因子のある、脳血管障害、血圧が低い、軽度腎機能障害、中等度腎機能障害、eGFR30mL/min/1.73m ² 以上90mL/min/1.73m ² 未満	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

エンレスト錠50mgの副作用等

1.	低血圧	記載場所	重大な副作用
2.	冷感、嘔吐、無顆粒球症、血小板減少、低血糖、脱力感、空腹感、冷汗、手の震え、集中力低下、痙攣、意識障害、筋肉痛、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、多形紅斑、天疱瘡、類天疱瘡、水疱、びらん、肝炎	記載場所	重大な副作用
		頻度	頻度不明
3.	舌腫脹、声門腫脹、喉頭腫脹、気道閉塞、血管浮腫、腎機能障害、腎不全、高カリウム血症、失神	記載場所	重大な副作用
		頻度	5%未満
4.	ショック、意識消失、白血球減少、発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、間質性肺炎	記載場所	重大な副作用
		頻度	0.1%未満
5.	咽頭炎、耳鳴、頻脈、ほてり、紅斑、光線過敏症、筋肉痛、浮腫、発熱、ビリルビン値上昇、LDH上昇、血清コレステロール上昇、血清総蛋白減少、ALP上昇	記載場所	その他の副作用
		頻度	頻度不明
6.	貧血、好酸球増多、低カリウム血症、食欲減退、低ナトリウム血症、浮動性めまい、体位性めまい、回転性めまい、頭痛、不眠、味覚異常、眠気、しびれ、動悸、心房細動、起立性低血圧、咳嗽、下痢、悪心、腹痛、便秘、嘔吐、蕁麻疹、関節痛、腰背部痛、疲労、無力症、けん怠感、口渇、胸痛、過敏症、発疹、そう痒症、アナフィラキシー反応、AST上昇、ALT上昇、血中尿酸値上昇、BUN上昇、血清クレアチニン上昇、血清カリウム値上昇、血糖値上昇、CK上昇	記載場所	その他の副作用
		頻度	5%未満
7.	肝炎、重篤な肝障害	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
8.	脳梗塞	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
9.	血管浮腫、症候性低血圧、脱水、急速に腎機能悪化、腎不全、頭蓋形成不全、肺形成不全、腎形成不全、死亡、胚致死、胎仔致死、着床後死亡率高値、催奇形性、水頭症、自然流産、羊水過少症、低血圧、腎機能障害、高カリウム血症、四肢拘縮、脳奇形、頭蓋顔面奇形、肺発育形成不全、出生仔低体重、出生仔生存率低下、外表分化遅延、著しい血圧低下、意識レベル低下、循環虚脱、著しい低血圧、骨量減少、骨長減少、体重増加抑制	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明

エンレスト錠50mgの相互作用

1.	薬剤名等：アンジオテンシン変換酵素阻害薬投与中止から36時間以内	投与条件	-
	発現事象		
	理由・原因	指示	禁止

2. 薬剤名等：アンジオテンシン変換酵素阻害薬

発現事象	血管浮腫	投与条件	-
理由・原因	相加的にブラジキニンの分解を抑制し、血管浮腫のリスクを増加	指示	禁止

3. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	非致死性脳卒中・腎機能障害・高カリウム血症及び低血圧のリスク増加	投与条件	糖尿病患者に投与する場合（ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く）
理由・原因	バルサルタンで報告、レニン－アンジオテンシン－アルドステロン系阻害作用が増強	指示	禁止

4. 薬剤名等：アンジオテンシン2受容体拮抗薬

発現事象	高カリウム血症、低血圧、腎機能障害	投与条件	-
理由・原因	レニン－アンジオテンシン－アルドステロン系阻害作用が増強	指示	禁止

5. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	-	投与条件	eGFRが ≤ 60 mL / min / 1.73 m ² 未満の腎機能障害
理由・原因	レニン－アンジオテンシン－アルドステロン系阻害作用が増強	指示	原則禁止

6. 薬剤名等：カリウム含量が高い食事を摂取

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

7. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	高カリウム血症、低血圧、腎機能障害	投与条件	-
理由・原因	レニン－アンジオテンシン－アルドステロン系阻害作用が増強	指示	注意

8. 薬剤名等：アトルバスタチン

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、OATP1B1及びOATP1B3を介する薬剤の肝臓への取り込みを阻害	指示	注意

9. 薬剤名等：PDE5阻害剤

発現事象	血圧低下	投与条件	-
理由・原因	PDE5阻害剤は本剤の投与により増加するcGMPの分解を阻害	指示	注意

10. 薬剤名等：カリウム保持性利尿薬

発現事象	血清カリウム値が上昇、血清クレアチニン値が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤のアルドステロン分泌抑制によりカリウム貯留作用が増強	指示	注意

11. 薬剤名等：カリウム補給製剤

発現事象	血清カリウム値が上昇、血清クレアチニン値が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤のアルドステロン分泌抑制によりカリウム貯留作用が増強	指示	注意

12. 薬剤名等：ドロスピレノン・エチニルエストラジオール

発現事象	血清カリウム値が上昇	投与条件	-
理由・原因	ドロスピレノンの抗ミネラルコルチコイド作用、バルサルタンによる血清カリウム値の上昇	指示	注意

13. 薬剤名等：トリメトプリム含有製剤

発現事象	血清カリウム値が上昇	投与条件	-
理由・原因	血清カリウム値の上昇が増強	指示	注意

14. 薬剤名等：シクロスポリン

発現事象	血清カリウム値が上昇	投与条件	-
理由・原因	高カリウム血症の副作用が相互に増強	指示	注意

15. 薬剤名等：利尿降圧剤

発現事象	利尿作用が増強、急激な血圧低下＜失神及び意識消失等を伴う＞	投与条件	-
理由・原因	重度のナトリウムないし体液量の減少した患者では、まれに症候性の低血圧が生じる、利尿降圧剤投与中は血漿レニン活性が上昇しており、これらの薬剤との併用によりレニン－アンジオテンシン－アルドステロン系阻害作用が増強	指示	注意

16. 薬剤名等：非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象	本剤の降圧作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	NSAIDsの腎プロスタグランジン合成阻害作用	指示	注意

17. 薬剤名等：非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象	腎機能を悪化	投与条件	-
理由・原因	NSAIDsの腎プロスタグランジン合成阻害作用により、腎血流量が低下	指示	注意

18. 薬剤名等：リチウム

発現事象	レニン－アンジオテンシン－アルドステロン系阻害剤でリチウム中毒、利尿薬を使用する場合にはリチウム毒性のリスクがさらに増加	投与条件	-
理由・原因	本剤のナトリウム排泄作用により、リチウムの蓄積	指示	注意

19. 薬剤名等：シクロスポリン

発現事象	Sacubitrilat又はバルサルタンの曝露量が増加し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	OATP1B1又はOATP1B3を阻害することにより、sacubitrilat及びバルサルタンの血中濃度を上昇	指示	注意

20. 薬剤名等：クラリスロマイシン

発現事象	Sacubitrilat又はバルサルタンの曝露量が増加し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	OATP1B1又はOATP1B3を阻害することにより、sacubitrilat及びバルサルタンの血中濃度を上昇	指示	注意

21. 薬剤名等：エリスロマイシン

発現事象	Sacubitrilat又はバルサルタンの曝露量が増加し副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	OATP1B1又はOATP1B3を阻害することにより、sacubitrilat及びバルサルタンの血中濃度を上昇	指示	注意

22. 薬剤名等：ビキサロマー

発現事象	本剤の作用が減弱、バルサルタンの血中濃度が約30～40%に低下	投与条件	-
理由・原因	リン酸結合性ポリマーにより、同時に服用した場合、バルサルタンの吸収を遅延あるいは減少	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』